



視察研修 岩手県巖美溪



会報 防災だより

2018
VOL.20

3月31日発行

CONTENTS

- 1. ご挨拶 会長 大黒裕明 2P
- 2. 防災フェスタ2017開催 2P~3P
- 3. 視察研修 3P~4P
- 4. 災害時要援護者支援事業 5P
- 5. 全体研修会 5P
- 6. 甲種防火管理再講習開催(後援) 5P
- 7. 各消防署管内主催事業 6P~7P
- 8. 違反対象物の公表制度 8P
- 9. 八戸ガス保安広告 8P

題字揮毫 大黒会長



ご挨拶

八戸地域防災協会
会長 大黒裕明

「防災だより第20号をお届けします。昨年の秋に公表された天気長期予報では暖冬という事でしたが、実際には何度も寒波が日本上空に押し寄せ、厳しい冬となりました。特に日本海側では豪雪となり、東京や大阪さらには四国地方にも積雪が記録されました。また、西日本ではその備えも余り無かったからなんだろうが水道管の凍結も見られたようです。それに比べると私たちの地域は、地震こそ時々起りますが、豪雨や豪雪もなく、昨年より寒さが厳しくはありませんが、比較的穏やかな冬だったと思います。もっとも、私自身は凍結した道路で転倒し、したたかに後頭部を打ち付けて意識が遠のき、一瞬人生の終わりを予感したほどでした。幸いにも今のところ障害のようなものは現れてはいませんが、これからも用心したいと考えています。皆様も、くれぐれもご注意ください。

さて、昨年は皆様と一緒に盛岡の岩手県央消防指令センターの視察をしました。建物の立派さや、なかなづく車庫の絵に感動しましたが、設備そのものは八戸も負けてはいないし心を強くしたのを記憶しています。年末の意見交換会では防災ヘリのお話も伺うことができ、知見を広めることができました。今年もまた行う予定ですが、視察にはどんなところが良いか、またどんな研修会を

行うか、よいアイデアがあればお知らせください。

平昌オリンピックは、政治的な駆け引きに若干違和感を感じられましたが、競技自体は大きな感動を残してくれました。これからは平和の象徴として長く続くことを祈ります。

ところで、昨年は当地域の火災がとてもなく、皆様方の普段の努力が実を結んだものと感謝申し上げます。それでもゼロではなかつたので、さらに少なくなるよう力を合わせて参りたいと思います。

この三月で当会は設立されて満十年を迎えました。その間皆様方の努力で地域の安全安心を保つ意識高揚などの効果があつたと存じます。さらに有意義なものにするため、組織の見直しなどを考えています。成案がほぼ纏まりましたので、次の総会にご提示させていただきます。本年には「まちにわ」がオープンされ、新しいスケート場が来年度完成の予定で、さらに八戸駅西地区にスケートリンクの建設や、公会堂の改修、沼館と八太郎を結ぶ新大橋の架け替えなどが予定されています。私たちの地域は新しい時代に向けて表情を変えて行くようで、まだダイナミズムは失われていないと心強く思います。この街の安全安心を守り続けるため、今後とも当会は地道な活動を行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

防災フェスタ2017開催

「防災フェスタ2017」が平成29年10月11日（水）に当協会・八戸地域幼年消防クラブ連絡協議会・八戸広域消防本部の三機関が共催し、八戸市体育館において開催されました。



この防災フェスタは、地域の各防災団体が一堂に会し連携を深め、防災体制の一層の充実を図ることを目的としているものです。



開会のことば 工藤副会長



抽選会

当協会
からは、

役員・会
員の総勢
25名が参
加し午前
10時に当
協会工藤
美登副会
長の「開
会のこと
ば」を皮
切りに第
一部とし

て式典、第二部では、アトラクショ
ンが行われ、八戸地域幼年消防クラ
ブ員、八戸地域女性消防クラブ員に



はしご乗り



ダッシュ&いかずきんズ



閉会のことば 椋沢副会長

より、はしご乗りやポンプ操法、さ
らには、鼓笛隊和太鼓演奏や踊りな
ど、さまざまな演出に会場内の参加
者約1,400名が一同に会し大賑
わいでした。
最後に、当協会椋沢幸苗副会長の
「閉会のことば」で幕を閉じました。



家庭安心音頭

視察研修

平成29年11月9日(木)、10日(金)
の1泊2日で今年度は岩手県盛岡市
内を主として23名が参加し視察研修
を行いました。

初日は、もりおか歴史文化館、岩手
県中央消防指令センターに行きました。
2日目は、一ノ関の狛鼻溪舟下り
を体験、少し肌寒かったものの天気
は良く船頭の語りと狛鼻溪追分を聞
きながら参加者皆、和やかな雰囲気
で懇親を深めました。



▲ もりおか歴史文化館

▼ 盛岡消防本部内



平成29年11月10日



視察研修に 参加しての感想



新郷村役場総務課

福山 拓史

新郷村役場の福山です。11月9日(木)から10日(金)の二日間、八戸地域防災協会視察研修に参加させていただきました。1日目は岩手県中央消防指令センターを見学しました。ここは平成28年から岩手県内の3消防本部(盛岡地区・北上地区・奥州金ヶ崎行政事務組合)で管轄している5市7町の119番通報を1ヶ所に集約している場所です。それにより現場までの到着時間の短縮と迅速な消火・救助が出来るとのことでした。また、建物が地震の際に揺れを弱める免震構造になっており、緊急の災害が起きても素早い対応が出来る場所だということです。ここでは火災発生時の対応や施設の案内の説明を受けてきました。

いる消防車も上から一望でき、子どもたちも楽しみながら体験できる場所でした。

4階にある防災学習コーナーは、災害グッズの紹介、災害発生時の対応・対策についてのパネル展示などに密着した体験型のフロアになっているという印象を受けました。私が入ったのは、自分の住んでいる地域を選択すると、災害(地震・火山噴火)が起きた時にその地域がどのような被害に遭うのかが分かる大型タッチパネルが設置されていることです。災害がいつ起きてもいいように、住民が意識できる空間が出来ているなど驚かされました。他にも火災発生時の出動の映像、岩手県が直面した災害の映像等を鑑賞し、盛りだくさんの研修となりました。

その他、もりおか歴史文化館や巖美溪、狛鼻溪へ行き岩手県内の歴史・自然のある場所へ赴き、このような歴史のある場所、自然を守るためにも日頃の防災への意識は大切だと感じました。

私は、平成29年4月に今の職場に配属となり、仕事として消防・防災に関わることになりました。いざ仕事として目を向けると、まだまだ知

識も足りなく、災害時の対応やその後の処置等、住民、そして村を守る力というのは私には足りないと感じていました。今回の研修では間近で施設を見学し、話を聞き、様々な経験をさせていただきました。これからの仕事に、また自身のステップアップにも繋がる研修になりました。

最後にこのような視察研修を計画してくださった消防本部の方々、一緒に参加した会員の皆さまに感謝申し上げます。感想とさせていただきます。大変ありがとうございました。



八戸液化ガス株式会社

類家 英二

11月9日、10日に八戸地域防災協会視察研修に参加し、岩手県中央消防指令センターを見学してきました。こちらの消防署は2016年5月に盛岡駅西口地区へ移転した新しい建物でした。

新庁舎には様々なコーナーがあり、2階の消防体験フロアでは盛岡消防の歴史や防火衣などを着ることが出来るなりきり消防士体験、消防の仕事や器材を学ぶことが出来る消防関連機器の展示、消火器の使い方を体

験し初期消火の重要性など、災害の知識と防災の実践を学ぶことができるフロアでした。

4階は防災学習コーナーとなっております。床には盛岡市近郊の航空写真が描かれ、岩手山が噴火した時の降灰量が書かれていて、災害や危険箇所、避難場所等が紹介されています。同フロアの県央消防指令室の見学では、マルチモニターに各地の防災カメラの映像や地上波テレビの映像の他に、グーグルマップも表示されていました。盛岡地区だけではなく北上地区と金ヶ崎地区の119番もこの盛岡中央消防署で受信していることも知りました。

この新庁舎は子供から大人まで幅広く防災に関して学べるように工夫されており、非常に楽しく見学することが出来ました。今回の視察研修に参加し、自分はもちろん、自分の大切な人を守るために自分自身で意識を持つて行動することが大事だと再確認しました。また、防災協会の会員の皆さまと交流を図れ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

最後に視察研修に参加させて頂きましてありがとうございました。

災害時要援護者支援事業

平成29年11月15日(水)から17日(金)までの3日間、八戸市・南部町・階上町の役所担当課及び民生委員の協力のもと、八戸電気工業協同組合、協同組合八戸管工事協会、(株)ユアテック八戸営業所、八戸消防本部により高齢者世帯、障害者世帯などの64世帯に住宅用火災警報器合計103個の寄贈設置を行いました。

初日同行した大黒裕明会長から「逃げ遅れによる犠牲者が少しでも減ってくださることを願います」と世帯の方に声がけしました。

さらに、訪問した当協会員により火気使用機器及び水回りの点検整備、たこ足配線や火気取扱いなどの注意を呼びかけました。



全体研修会



研修会

平成29年12月1日(金)八戸パークホテルにおいて、全体研修会を開催しました。

今回の研修は、青森県防災航空隊で第19代隊長を歴任、現在は八戸消防署第一消防隊長である佐々木義光氏を講師に招き、「青森県防災ヘリコプター(しらかみ)を経験して」と題し講演していただきました。

実際の現場活動内容を空から陸か



講師 佐々木義光氏

甲種防火管理再講習開催(後援)

ら撮影した映像をスクリーンに映しながらの講演であったため、参加者からは、「とてもリアルだ」「知らない世界を知ることができて大変勉強になった」との声があり、研修会は大好評でした。

研修後の懇談会では、それぞれに情報交換などをし会員間の親睦を深めることができました。



懇談会



受付の様子

今回は50名の方が受講し、講習会の最後には、参加者全員に修了証が交付されました。



会場の様子

甲種防火管理再講習が八戸消防本部に於いて3月2日(金)開催されました。

消防法により防火管理者を定めることになっている防火対象物のうち、一定規模以上の防火対象物の防火管理者は、5年以内ごとに再講習が義務付けられています。そのため、対象者の知識・技能の更新を図ることを目的とし、八戸消防本部が主催、後援として当協会がお手伝いし毎年開催しているものです。



八戸消防本部 上野次長挨拶

各消防署管内主催事業

八戸消防署管内研修会

昨年まで八戸消防署・八戸東消防署ブロック合同として、2月に実施していた普通救命講習を、今年度から八戸署、東署の管轄毎で実施することとなりました。当署では、平成29年11月27日(月)から30日(木)までの4日間、八戸消防本部5階研修室で実施し、合計157名の参加がありました。講習前半は応急手当基礎知識等の座学、後半は心肺蘇生法、AED使用方法等、実技を中心に行い、現場に居合わせた住民による応急手当の重要性を認識し、参加者全員が真剣な眼差しで講習に取り組んでいました。講習会終了後、参加者に修了証が交付されました。



八戸東消防署管内事業

ミニ消防車を作製

八戸東消防署では、八戸地域防災協会の名前入りのミニ消防車を作製

し、秋の火災予防運動週間に行われた、ちびっこ防災広場でお披露目しました。火災予防の広報活動や幼年消防クラブのイベントで活躍しています。

ミニ消防車正面



ミニ消防車横側

今年度、八戸東消防署管内では、2回の研修会を開催しました。

一回目は、9月21日(木)に八戸東消防署を会場とし大黒会長出席のもと実施しました。

研修内容は、防火管理の責務と法改正の経緯などについての勉強会の後、119番通報、粉末消火器を使用するの消火訓練と地震、濃煙体験や高さ20mまで延びる屈折はしご車

搭乗など盛り沢山な内容で、多くの知識を得ることが出来ました。研修会には昨年の倍以上の27事業所から35名が参加し、改めて各会員事業所における防災、防火管理への関心の高さが示されました。



▲ 粉末消火器での消火訓練

二回目は、11月15日(水)、16日(木)に、沼館にある八戸市津波防災センターで普通救命講習会を実施し、18事業所から33名が参加しました。救命救急の必要性、重要性を学び、心



肺蘇生法とAED操作について訓練し知識を深めました。防火に関する研修会及び普通救命講習会に参加していただいた皆さん、お疲れ様でした。平成30年度もよろしくお願ひします。

三戸消防署ブロック総会・研修会

3月7日(水)に三戸町の「割烹白山」で総会・研修会を開催し、18事業所から21名、消防職員10名の31名が参加しました。

事業及び収支決算報告では、今年度新たに7事業所が加入したことが報告されました。また、研修会では、防火管理者の責務や避難経路確保の重要性などを再確認したほか、新年

懇親会



◀ 総会・研修会



度から施行される違反對象物の公表制度について学びました。

懇親会では、三戸地区から災害を出さないことを誓いながら親睦を深めました。

五戸消防署ブロック事業報告会

平成30年2月14日（水）にアピル五戸で平成29年度の事業報告会を開催しました。お忙しい時期にもかかわらず、7事業所のほか個人会員様から参加申し込みがあり、平成29年度事業報告、会計報告、平成30年度事業計画案、予算案を承認していただきました。

おりしも平昌オリンピックの女子1000mスピードスケート競技の日、元オリンピック選手、五戸消防署金演署長の詳細な解説、競技の見どころなどを話してもらい、有意義な時間となりました。

さて、競技は小平選手が銀メダル、高木選手が銅メダルの結果となり、小平選手に期待を寄せていた金演署長は悔しさひとしお。小



平選手は力んでいた、右腕の振りが大振りだった。」素人目にはいつもどおりに見えても、元オリンピック選手手の分析には、参加者一同舌を巻いたところですよ。

おいらせ消防署ブロック前期研修会

おいらせ消防署ブロック前期研修会を11月22日（水）に、おいらせ消防署2階会議室で開催しました。近年の台風等による災害は、全国的にも局地的にも甚大な被害を与えており、また、地震災害や津波災害がつ、どこで発生するか危惧されます。

今回の研修は、おいらせ消防署職員が講師となり、このような時に少しでも役立つミニ知識を「身近な物を使用した防災用品の作製」、「身近な物を使用した応急処置」と題して、それぞれ手と体を動かし、体験しました。15事業所22名が参加した今回の研修は、「災害による犠牲者ゼロを目指して」では、

普段見るこ
とがない災
害の映像を
通して、災



害に対する考え方が改められました。

次の「身近な物を使用した防災用品の作製」では、講師が身の回りの物でろうそく代わりの明かりの灯し方等を実演すると、驚きの声が上がりました。「身近な物を使用した応急処置」では、慣れない手つきで応急担架を作り、いざ作るとなったらできるのだろうかなどと不安の声がありました。

参加事業所の皆様においては、本日も習ったことを、有事の際、役立てていただければ幸いです。

また、いつ、どこで直面するかわからないその時に、慌てずに対応できるような時折、今日の内容を思い返して頂ければと思います。

おいらせ消防署ブロック後期研修会

おいらせ消防署ブロック後期研修会が、2月21日（水）に、おいらせ町立中央公民館2階大広間で開催しました。

今回の研修は、15事業所28名が、普通救命講習会を受講し、突発的に発生した急病人、怪我人等に対する救命処置並びに応急手当の仕方、119番通報要領等についての研修を行いました。

最後に講習会の効果確認を実施し、最初手間取っていた行動がスムーズに行えたことに対し参加者全員から

自然と拍手がでたり、積極的な質問も出されました。5〜6年ごとに心肺蘇生法のガイドラインが改正されており、心臓マッサージが胸骨圧迫に名称変更されたり、呼吸・脈拍の確認がシンプルになったり、胸骨圧迫と人工呼吸の対比が5・1から15・2さらに現在は30・2に変更になったりと定期的に講習会を受講し新しい知識や技術を身に付けることができたこと好評をいただきました。大変成果のある講習会となりました。

研修会後は、月見旅館に場所を移動し総会並びに懇親会を開催し、参加者一同親睦を深めました。



▶ 救命実技



◀ 懇親会

違反対象物の公表制度

重大な消防法令違反のある建物を八戸地域広域市町村圏事務組合ホームページに公表します。

●違反公表制度とは

建物を利用する方自らが、建物の防火安全に関する情報を確認して、利用の判断に活用できるよう、重大な消防法令違反のある防火対象物に関する内容をインターネット等により公表する制度です。

●対象となる建物用途

劇場や飲食店、店舗など不特定多数の者が利用する建物や、病院や社会福祉施設など一人で避難することが難しい方が利用する建物が対象です。(八戸地域広域市町村圏事務組合火災予防条例施行規則第14条第1項)

●対象となる重大な消防法令違反

消防法令で設置義務があるにもかかわらず、以下の消防用設備が設置されていないものです。

- 屋内消火栓設備
- スプリンクラー設備
- 自動火災報知設備



●公表の内容

- 建物の名称
- 建物の所在地
- 違反の内容
- 公表日

●公表の方法

八戸地域広域市町村圏事務組合ホームページ、消防本部及び消防署へ掲示します。

問合せ先 八戸地域広域市町村圏事務組合 消防本部 予防課 TEL 0178-44-2133

ガス設備安全システム

～より安全に都市ガスをお使いいただくために～

《保安への取り組み》

八戸ガスはお客様が安心して都市ガスをお使いいただけるように、都市ガスの製造所からご家庭にいたるまで24時間体制で安全の確保に努めています。

設備名	2013年度の普及率
マイコンメーター	99.8%
不完全燃焼防止装置付ガス小型湯沸器	99.4%
2013年度の普及率	96.9%

マイコンメーター
ガス漏れや地震の時にガスを自動的に遮断
組み合わせにより遮断も可能

不完全燃焼防止装置付ガス小型湯沸器
危険な不完全燃焼を防止する装置のついたガス小型湯沸器

2013年度の普及率 96.9%

ガスコード
ワイヤーが入ってしまえば「ガスコード」は挿入できずガスが止まります

ガスコンセント
ワンタッチで接続を止め、接続ミスも防止

立消え安全装置
使用中に火が消えると「立消え安全装置」が働き、ガスをストップ

立消え安全装置付ガスコンロ
使用中に火が消えると「立消え安全装置」が働き、ガスをストップ

Siセンサーコンロ
温度センサー(調理油温熱防止装置)すべてのバーナーにセンサーを搭載。安心して調理ができます。

転倒時ガス遮断装置付ガスファンヒーター
ガスファンヒーターが転倒するとガスは自動的にストップ

設備対策
地震や衝突に強いポリエチレン管(PE管)の導入促進に努めており、この10年間でPE管の累計延長は約2倍に増加しました。

八戸ガス

お知らせ

八戸田向地区の住居表示が、平成30年2月10日から変更になったことにより当協会の住所が変わりました。郵便番号・電話番号は現在のままです。

旧住所 八戸市大字田向字松ヶ崎7-8

新住所 八戸市田向五丁目1番1号